



今月の表紙は、4月13日(日)に開催されたJRさわやかウォーキングの参加者が、しだれ桜まつり開催中の幸田文化公園をウォーキング中の写真です。幸田町の春を満喫した参加者は4000人を越えました。

## 今月の表紙

# みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)  
FAX63-5139

## 幸田の民話

### 「鷲田の大鷲」

菱池

むかし、鷲田には、かしくすななどの大木が、うっそうと茂っていました。中でも、お宮さんのところにあるくすの木は、ひととき大きな木で、日本中でも3本の指に入るのはないかと、もっぱらの評判でした。

このくすの木に、いつからか、1羽の鷲が住みつきました。永い間住みついている間に、だんだんと大鷲になるとともに、いたずらも激しくなってきました。初めは働いている人たちの弁当をかすめる程度でしたが、次第に、庭で遊んでいる鶏をさらうようになり、ついには、かごの中で寝ている赤ちゃんまで襲うようになりました。これには、村の人たちもほとほと困り果てていました。

この辺りを治めていた鎌田のひょうえのじょうは、

「もう捨てておけぬ、あの大鷲を討て」

と、家来の大伴のただよしに命じました。

ただよしは、勇んで大鷲退治に向かいましたが、大鷲も曲者です。な

かなか退治できませんでした。

そこで、ただよしは考えました。ある朝、松の前に大鷲の大好きな鶏を置き、自分はその松の木の後ろに身を隠して、じっと待っていました。しばらくすると、大鷲がその鶏を捕らえようと舞い降りてきました。木の陰からただよしがぱっと出ると、大鷲は狙いを鶏からただよしに変えました。そのとき、朝日の光が大鷲の目をくらませました。その瞬間をただよしは見逃さず、見事にただよしの放った矢が大鷲の体を射抜きました。大鷲は、もうあのくすの巣には戻らず、西のほうへ飛び去って行きました。

しばらくして、村の人たちは、あおみの郡(碧海郡)に、大鷲が倒れていたといううわさを耳にしました。大鷲が落ちていた里の人たちは、塚を作り、ねんごろに弔いました。それから、この土地を鷲塚(碧南市)と呼ぶようになったということです。(「こうたの民話」より)

\*内容は要約してあります



【陶芸】  
金子 義輝 さん

## みんなの作品展!



【手芸】  
滝川 好子 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

## 今月の記念日

5月29日は「こんにゃくの日」

5月29日は「こんにゃくの日」です。「529」がこんにゃくの語頭に似た数字であること、こんにゃくは5月ごろに種芋を植え付けることから制定されました。

こんにゃくは昔から「おなかの砂おろし」や「胃のほうき」などといわれてきました。これは、食物繊維の豊富なこんにゃくを食べることで体に不必要なものを掃除する、という意味です。こんにゃくに含まれる食物繊維・こんにゃくマンナンは、大腸がんや大腸ポリープなどの大腸疾患のリスクを軽減させることが知られています。

また、インスリン分泌の節約効果もあるため、糖尿病の予防にもなります。他にも、排便反射を高め、おなかをすっきりさせたり、カルシウムの摂取もできるため、骨や歯の成長や精神安定の作用もあります。

日本こんにゃく協会のサイト(<http://www.konyaku.or.jp/>)には、よこんにゃくの見分け方、こんにゃくの作り方のほか、「こんにゃくと鶏手羽元の中華うま煮」、「粒こんにゃく入りカレーチャーハン」など、こんにゃくのレシピ集も掲載されています。



# 青春トークリレー

△△第182走者△△

いつほ みえこ  
伊坪 美江子 さん

大草区在住 25歳 教員

身長 158cm O型

好きなタイプ 穏やかな人

好きな芸能人 特になし

## 自己PR

就職して自分の時間が少なくなった今のほうが、学生時代よりも時間を有効に使えるようになりました。バスケやテニスやジョギングをしたり、いろいろな友達と遊んだり・・・今後も充実した生活を送ることができるようになっていきたいと思っています。

**趣味** 最近は東野圭吾さんの本にはまっています。出かけるときには本を持ち歩き、少しでも時間があれば読むようにしています。私が読んだ中でもおもしろいと思った作品は、「秘密」、「手紙」、「白夜行」、「幻夜」です。東野圭吾さんの作品はとても読みやすいので、読書が苦手というかたにもおすすめです。



## はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
希望者は企画政策課まで。



4月5日澄み切った青空そして、満開の桜の中「菱池保育園」の入園式が行われました。お父さん、お母さんに手をひかれ、真新しい園服を着て、ピカピカのかばんや帽子をつけた子ども達、とても嬉しそうでした。受付で担任の保育士に名前を聞かれ、「○○です」と言える子もいれば、恥ずかしくなってしまう子もいました。でもクラスカラーの名札をつけてもらうと、どの子どもとっても嬉しそうでした。遊戯室に入り式が始ま

## 20年度スタートの巻

わんぱくどより  
「某月某日」  
「菱池保育園」

り・・・園長先生の話の後、クラスごとに担任の保育士が名前を呼びました。名札を付けてもらったので自分のクラスが分かっています。手を上げて大きな声で「はいー！」と言える子がたくさんいたのには驚きました。次に保育園の生活を分かっていたかどうかと映像で紹介したところ、保護者はもちろんですが、子ども達もとてもよく見てくれました。特に給食場面では「お魚だー！」と感動(?)もあり、生活の様子が分かっていただけたのではないかなと思います。



こちらこちらで撮っている姿がみられました。4月7日から新入園児を迎え、全園児189人でスタートします。保護者の方々のご協力を得て、楽しい保育園にしていきたいと思っています。

## 編集者のひびき

ちびと

編集者のひびき

▼皆さん始めまして！今年度の人事異動で企画政策課に配属になり、広報こうたを担当することになりました。早く1人前になるように努力しますので、どうかよろしく願います。皆さんからのいろいろな意見をお待ちしております。

今までは、生涯学習課でスポーツの仕事に携わって来ました。そこでは体育指導委員の皆さんに大変お世話になりました。本当に感謝しています。決して忘れません。これからはスポーツのイベントなどには写真撮影でお邪魔します。今後は別の角度からお世話になります。(T)

▽先日、JRさわやかウォーキングが開催されました。心配された天気にも恵まれ、心地よいウォーキングができたことと思います。参加人数もこれまでで最高の4000人を超えたと思います。ただ桜は満開を過ぎた頃でしたが、朝から昼過ぎまで町内を歩く人をあちこちで見かけました。約12キロのコース、歩き慣れない自分にはきつそうな距離ですが、みんなで歩けば楽しく歩けそうな気がしてきました。(T)